

2012 年 10 月 17 日 モンロージュ

本書は、英語によるCrédit Agricole SA Press Releaseの抄訳であり、英語による原文がすべての点においてこの日本語の抄訳に優先します。疑義がある場合には英語の原文に従い解釈をお願いいたします。

プレスリリース

クレディ・アグリコル S.A.はアルファ銀行へエンポリキ売却を発表

本日クレディ・アグリコル S.A.は、エンポリキの全株式をアルファ銀行に売却することを発表致しました。2012 年 10 月 15 日、クレディ・アグリコル S.A.の取締役会は、本取引を承認致しました。関係各省庁からの承認を前提として、クレディ・アグリコル S.A.は 2012 年 12 月 31 日までにアルファ銀行に対し売却を完了する予定です。本取引の諸条件は、アルファ銀行の取締役会とギリシャ金融安定化基金(HFSF)によって既に承認されております。

本取引の主要条件

クレディ・アグリコル S.A.は、アルファ銀行にエンポリキ・グループの全株式を1ユーロで売却致します。既に発表の通りクレディ・アグリコル S.A.は 2012 年 7 月に 23 億ユーロを追加出資しておりますが、売却完了前にはエンポリキへの追加出資総額は 28 億 5,000 万ユーロとなる予定です。更に、クレディ・アグリコル S.A.は、1 億 5,000 万ユーロのアルファ銀行発行の転換社債(クレディ・アグリコル S.A.の行使によりアルファ銀行の株式に転換可能)を引受ける予定です。

2012 年 9 月末時点でのクレディ・アグリコル S.A.のエンポリキへの資金供給額は、21 億ユーロとなりました。上記のエンポリキへの追加出資とアルファ銀行発行の転換社債の引受けによって、この資金供給額のうち約 7 億ユーロが即時減額されることになります。

更に、クレディ・アグリコル S.A.はエンポリキとアルファ銀行から資産購入の可能性を検討しています。これによりエンポリキに対する資金供給の残額が削減されることになります。

残る資金供給額は 3 回に渡り返済される計画(最終は 2014 年末)であり、全てクレディ・アグリコル S.A.が選択する優良な金融資産によって保全されます。

本取引による財務的影響

本取引による影響は、クレディ・アグリコル S.A.の 2012 年度第 3 四半期の決算内容に反映されます。本取引の完了までに生じる全ての損失とコストを勘案した場合、当グループの純利益グループ帰属分は推定で 20

億ユーロ減少することになります。

本取引は、当グループの財務状況を強化し、事業再編計画に沿って継続的に中核事業に集中していくというクレディ・アグリコル S.A.の戦略の一環です。クレディ・アグリコル S.A.は本取引による累積効果が、以前発表の2013年度末におけるクレディ・アグリコル・グループのソルベンシー・レシオ達成へ向けて、その一助となると考えております。

本取引の独占的交渉開始時に示したように、同取引はギリシャの銀行システムの再編に資するものであり、同国の金融セクターの回復にとっても、必要不可欠な要件であります。

アドバイザー

クレディ・アグリコル S.A.へのアドバイザーとして、野村ホールディングス及びクレディ・アグリコル CIB が勤めており、法務アドバイザーとしては、Clifford Chance と Koutalidis が勤めています。